



やあ! ya!

URL: <http://tia21.or.jp/>

E-mail: tia@tia21.or.jp



▲初めてのゆば引き上げ体験



▲日光へ向かうバスの車中で楽しいクイズやゲーム



▲忍者のまねをする参加者



▲「日光江戸村」でみんなで記念撮影

「多文化共生ワンデイツアー」実施

TIAの多文化共生推進室では、多文化共生普及啓発モデル事業として、日本人と外国人が互いの文化・習慣・考え方などを理解・尊重し、安心して暮らすことができる、多文化共生の地域づくりを推進する事業を行っています。その一環として、3月1日(土)に今年度3回目となる「多文化共生ワンデイツアー」を実施しました。参加者は日本人と外国人の親子40名。栃木県庁を出発し、日光ゆば工場、日光江戸村を訪問しました。車中では、日光のゆばや江戸村に関するクイズも出題され、親子で頭をひねりながら、解答していました。

ゆば工場では、製造過程を見学し、外国人はもとより日本人でも初めて見る人が多く、工場スタッフの説明を熱心に聞いていました。日光江戸村では、江戸の文化や忍者ショーなど親子で思う存分楽しんでいました。帰りの車中では、ビンゴゲームも開催され、疲れてうとうとしていた子どもたちも参加し、大盛り上がりのうち、県庁に到着しました。

2014年3月号

No.126

Spring

◆国際交流団体紹介
◆とちぎに暮らして
◆JICA 情報局

那須アカデミーフランセーズ
ブラボ・コハツ・ホセ・ラウルさん(ペルー出身)
平成26年度JICA ボランティア春募集説明会

「相談員・通訳協力者実務研修会」

平成25年度第2回相談員・通訳協力者実務研修会を1月31日(金)とちぎ国際交流センターで開催し、外国人の相談に携わっている相談員や通訳協力者など25名が参加しました。

今回の研修会では、一昨年7月に改正された新在留管理制度施行後の現状と実態、またそれに伴う問題点を学ぶため、栃木県行政書士会の風間洋氏を講師にお招きしました。講演は、入管法の基礎知識に始まり、届出義務や在留資格取り消しなどの変更点、在留特別許可のガイドラインなど多岐にわたりました。風間氏の穏やかな語り口の中にも、新在留管理制度の厳しさが浮き彫りとなる講演でした。また、休憩をはさんだ後にはケーススタディも行われ、退去強制や仮放免の事例などについて各グループで話し合いが持たれ、さまざまな意見が飛び交いました。参加者からは、「新在留管理制度をさらに詳しく知る



▲新在留管理制度の現状と課題について熱心に話す講師の風間氏

ことができてよかった」、「ケーススタディで出された事例で、より具体的な考え方が身についた」などの感想が聞かれ、たいへん有意義な研修会となりました。

「パソコンで学ぶ日本語教室」

1月8日から3月12日までの毎週水曜日、全10回コースで在県外国人のためのパソコンで学ぶ日本語教室をとちぎ国際交流センターで開催しました。受講者は中国出身の13人。講師は多文化共生推進室のスタッフが担当しました。

受講者はパソコンを用いて、ローマ字入力から漢字やひらがなに変換する操作を行うため、ローマ字変換表を見ながら、慣れない操作に苦戦しながらも日本語を習得することができました。そして、今回はWord操作を学びながら、簡単な招待状やチラシの作成にも挑戦する内容も盛り込まれており、受講者も真剣な表情で講師の指示を聞きながら、自分のアイデアを取り入れ、文書づくりに取り組んでいました。回数を増すごとにキー操作も慣れたものとなり、めきめきと上達している様子うかがえました。授業はとても和やかな雰囲気が進め

られているため、時折、受講者から気楽に質問が飛び出しますが、受講者の表情から真剣さがうかがえる講座となりました。



▲パソコンに向かい真剣に取り組む受講者

「はじめての英会話2」

県民外国語講座「はじめての英会話2」が、1月9日から3月13日までの毎週木曜日、とちぎ国際交流センターで開催されました。講師はマーク・マコーマック氏、受講者は24名でした。



▲「はじめての英会話2」授業風景

マコーマック氏は、受講者それぞれの特技や生活の話題などを聞いて授業に取り入れ、各自が言いたいことを伝えられる英語のフレーズを紹介したり、聞く側がどのように相づちを打ったり質問したりすれば話が広がるかなど、自分と相手の相互理解が進むような、コミュニケーション能力の向上に役立つ授業を行いました。また、マコーマック氏は、出身国のイギリスや日本以外の国にも居住経験があり、旅行好きということもあって、海外事情にも明るいことから、今回の講座では、イギリスで使われている生活シーン別の会話表現の特徴や旅行でイギリスを訪れる際に役立つ情報などを盛り込んだり、イギリスと日本・諸外国との類似点や相違点などの説明を行ったりしたため、結果として、より実践的で文化理解の深まる内容となりました。

ネイティブで日本語の通じるマコーマック氏は、受講者から人気があり、「今後もぜひ同じ先生で英会話の学習を続けたい」という声が多数寄せられました。

「多文化共生カレッジ in 真岡」

今年度3回目となる「多文化共生カレッジ」を1月11日から2月22日までの毎週土曜日、真岡市二宮コミュニティーセンターで開催しました。内容は、ペルー編、中国編、ブラジル編、フィリピン編の4コース全7回で、参加者は延べ408名でした。初回は、参加者が全員で楽しめるように、ワークショップで自分との共通点を探して、グループを作る全員参加型アクティビティを取り入れました。2週目からは各コースに分かれて、それぞれの言葉、料理、踊りなどの文化紹介を行いました。

最終回は、参加者全員による交流会と各コースの内容発表、ごみと学校の部活動の2つのテーマについてのグループディスカッションを行い、グループごとに発表してもらいました。

2月8日に予定していた第6回は近年にない大雪のため、中止となってしまいましたが、参加いただいた皆さんには多くの驚きと発見、そして感動を味わっていただけたことと思います。



▲アクティビティを行う参加者

「多文化ソーシャルワーク

～これからの外国人支援とは～」

在住外国人の長期滞在、定住化が進むなか、外国人の抱える問題も複雑かつ深刻なものになってきています。これらの外国人に対して、文化的・社会的な背景の違いを踏まえながらソーシャルワークの知識や方法を活用して、相談から解決まで継続した支援を行う「多文化ソーシャルワーク」が注目されています。

この多文化ソーシャルワークを取り入れた外国人支援の必要性を広く伝えるために、普及啓発セミナーを2月18日（火）に栃木県総合文化センターで開催しました。講師は昨年実施した多文化ソーシャルワーカー養成セミナーのメイン講師を務めた日本福祉大学社会福祉学部教授の石河久美子氏。参加者は外国人支援活動に関心のある方や同日に開催している外国人関係相談機関連絡会議の出席者など55名でした。初めに栃木県における多文化ソーシャルワーク関連事業の取り組みを紹介したあと、石河氏から多文化ソーシャルワークの研究や多文化ソーシャルワーカーの養成・



▲外国人支援のあり方を提言する
石河氏

活用などに携わってきた視点から見えてくる在住外国人支援の現状や課題、外国人支援を進めていくうえで押さえておかなければならないポイントなど、たいへんためになる講演をいただきました。

「国際理解教育ファシリテーター養成講座」

国際理解教育の担い手を育成することを目的とした「国際理解教育ファシリテーター養成講座」を2月8日（土）・9日（日）の2日間、桜井・法貴グローバル教育研究所代表の桜井高志氏を講師に招き、とちぎ国際交流センターで開催しました。

ファシリテーターとは「進行役・プログラムの促進者」のこと。桜井氏は、今まで取り組んできた国際理解教育や地球市民学習（グローバル教育）に関する豊富な経験から、国際理解を深めるプログラムを実施する際に必要なファシリテーターの心構えや技術、また「地球市民の MVP」－Mind（異なるものの尊重）、Vision（地球規模の公正）、Perspective（広い視野）－の大切さについて説明しました。更に参加者は、参加型学習として「グローバル・ビンゴ」などの楽しみながら学べるアクティビティを体験したり、実際に国際理解プログラムをグループで作成し発表しました。

8日に降った大雪の影響で、参加者は延べ25名と少なめでしたが、自由活発でさまざまな意見が述べられ、会場は大いに盛り上がりました。



▲グループで作成した国際理解プログラムを発表する参加者

国際交流団体紹介

「那須アカデミーフランセーズ」

2014年1月16日、県北の3市町を主対象とした那須アカデミーフランセーズが誕生しました。

栃木県は南フランスのアヴィニョンを県都とする、ヴォーリューズ県と姉妹関係にあります。でも県内にフランス関係の交流団体は3つありますが、県北地域にはありません。

そのような状況下で、2013年8月から那須塩原市の国際交流員として、日本語堪能な若きフランス人女性、Alice Paquier さんが赴任しました。そして11月から那須塩原市内で初めての「初歩フランス語講座」が始まりました。

一方、那須町にはシニアカレッジのフランス語講座があります。また、大田原市にはフランスヴォークリューズ県でのホームステイ体験を含む、女性の海外研修事業派遣団経験者が多数います。この事業は10年も継続したそうです。



▲那須塩原市国際交流員の Alice さんの
交流会の様子

そこで県北地域内で、フランス語勉強経験の有無は問わず、フランスに関心のある方々と、在住・在日フランス人（※）との国際交

流、フランス語会話の実践体験、及び会員相互交流を図ることを目的とした協会、那須アカデミーフランセーズを設立しました。

発足時、当協会設立趣旨に賛同して頂いた25名もの方々が会員と

なりました。また、那須塩原市では Alice さんのフランス語講座が好評で、5月からも新規の講座を開設予定で、更に会員が増えるような状況です。

まだ発足したばかりで、1月16日の発足式兼 Alice さんを迎えての交流・懇親会が初めての活動です。当面は Alice 交流員との交流会が中心となりますが、今後関係者の伝手を頼りに趣旨に沿うよう、多数のフランス人との国際交流の場を持てれば良いなと思っています。TIA ニュース「やあ！」の読者の皆さんにもご協力をお願いします。

※文中のフランス人には、フランス語を話す全ての外国人を含みます。
（文：会長 上田夏生）



▲懇親会の席で参加者と話す Alice さん

とちぎに暮らして... Living In Tochigi



ブラボ・コハツ・ホセ・ラウルさん

(ペルー出身・宇都宮市在住)

8歳の時に初来日。その後、日本の学校に入り、専門学校卒業後一時帰国。2008年に再来日。現在、宇都宮大学国際学部4年生。数々のボランティア活動に携わる。

——はじめまして。日本にはいつ来られたんですか。

8歳の時に、母と一緒に福岡県に来ました。ペルーにいた時は日系の小学校に通っていましたが、来たばかりの頃はそんなに日本語はできませんでした。でもまだ幼かったことと、周りに日本人しかいなかったということもあり、言葉にはあまり苦労はしませんでした。その後、専門学校まで日本で過ごしました。卒業後はスペイン語を使う仕事がしたくてペルーに戻り、しばらく働いていましたが、ボランティアや国際協力の勉強がしたくなり、国際学部のある宇都宮大学に編入しました。

——栃木の大学生活はいかがでしょう。

以前住んでいた福岡と比べると栃木の冬は風が冷たいので寒く感じますが、自然は多いです。過ごしやすいと思います。

大学では自分の勉強のために、外国人児童らの教育支援を行う

JICA 情報局

JICA ボランティア春募集

【募集期間：4/1～5/12】

これまで皆さんが日本で経験してきたことを、海外に舞台を移してJICA ボランティアとして生かしてみませんか？

開発途上国の人びとのために、自分の持っている技術や知識を生かしてみたい！ そうした意欲を持っている方を派遣するのがJICAのボランティア事業です。

私たちができることで、世界の人たちが明日への希望をもてたら。それはきっと、あなたの心も満たす素晴らしい経験になるはずです。

～実際の活動の様子を聞いてみよう！ in 栃木～

シニアボランティア・青年海外協力隊合同募集説明会 & 体験談

入場無料！ 予約不要！ 途中入退場可！

【日時】4月5日（土）14:00～16:00

【会場】とちぎ国際交流センター

【おすすめ企画】

①説明会ではボランティア制度の説明他
個別相談も行っています。

②派遣中の隊員と会場をスカイプで繋ぎ
生インタビュー&活動報告！

【問合せ】JICA 栃木デスク（TIA 内）028-621-0777



宇都宮大学 HANDS プロジェクトにかかわっていますが、このほかにも、ボランティア団体に所属しボランティア活動を続けています。HANDS プロジェクトでは小学校へのボランティアの派遣のほか、先生との連絡協議会を開催したり、子供たちのイベント運営を行ったりしています。過去にはブラジル人学校と共に一泊二日のサマーキャンプを主催し、学生主体で行いました。昨年には、宇都宮大学の学生が主体となったサークル Hands Junior を設立し、新たな活動を始めました。そのほか FNNNP という団体にも所属し、東日本大震災の時に起きた福島第一原発の事故のために福島県から避難している母子家庭のために、クリスマス会や専門家を招き勉強会を開き、支援を行っています。

——最後に今後の抱負を聞かせてください。

現在、ボランティアで主にペルーの児童生徒と親子への支援に力を注いでいますが、今までのボランティアでの経験を生かしなが、将来は、国際関係の仕事をしたいと考えているので、卒業後、大学院へ進み、更に国際関係の研究を続けていきたいと思っています。



▲HANDS JUNIOR のメンバーたちと

TIA バナー広告募集中

TIA では、ホームページに掲載するバナーを募集しています。企業での各種キャンペーン告知、お店の PR など自由に活用していただけます。1 か月からでも可能です。TIA ホームページの「バナー広告募集中」をクリックしていただくと掲載申し込みの詳細が記載されていますので、ご一読のうえご検討をお願いします。

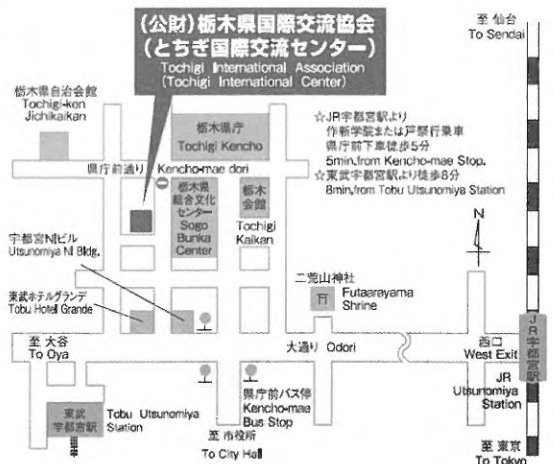
☆バナー広告に関するお問い合わせ・お申し込み☆

TEL 028-621-0777 FAX 028-621-0951

Email tia@tia21.or.jp

ホームページ <http://tia21.or.jp/advertisement.html>

TIA ご案内図



TIA では「TIA 携帯情報サービス」ユーザーを随時募集しています。

ご登録・詳細についてはこちらをご覧ください。

<http://tia21.or.jp/mobile.html>

編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業 務 時 間 8:30～17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日